

**製品名: hnRNP G ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12145**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RBMX
別名	RBMX; HNRPG; RBMXP1; RNA-binding motif protein; X chromosome; Glycoprotein p43; Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein G; hnRNP G
遺伝子 ID	27316.0
SwissProt ID	P38159
免疫原	抗血清はヒト hnRNP G 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 6-55

**背景**

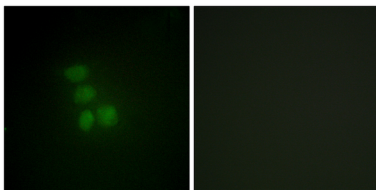
この遺伝子は、Y染色体精子形成候補遺伝子を含む RBMY 遺伝子ファミリーに属します。この遺伝子は、Y染色体 RBMY 遺伝子の活

性X染色体相同遺伝子であり、広く発現していますが、RBMY 遺伝子は精子形成において男性特有の機能を発達させました。1、4、9、11、および6番染色体に存在するこの遺伝子の擬似遺伝子は、元の遺伝子からのレトロトランスポジションによって生成されたものと考えられます。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。 snoRNA 遺伝子 (SNORD61) は、そのイントロンの1つに存在します。 [RefSeq 提供、2009年9月],function:RNA 結合タンパク質で、pre-mRNA スプライシングに関与している可能性があります。 ,PTM:Arg-185 はジメチル化されており、おそらく非対称ジメチルアルギニンとなっています。 ,PTM:開始 Met の切断は部分的です。 Met-1 が除去されない場合、アセチル化されます。 Val-2 が除去されると、アセチル化されます。 ,PTM:O-グリコシル化されています。 ,類似性:1つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含みます。 ,細胞内局在:リボヌクレオソームの構成要素です。 ,サブユニット:スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH で構成されています。MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PIIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、ZCCHC8。KHDRBS3 と相互作用します。

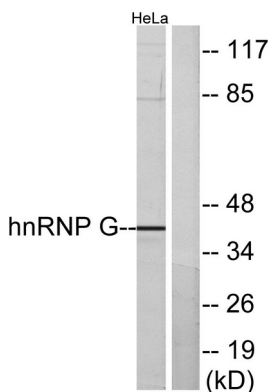
## 研究分野

スプライソソーム;

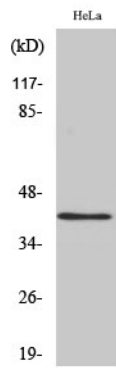
## 画像データ



hnRNP G 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



hnRNP G 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



hnRNP G ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。